

2023年4月1日

## 2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 Oh! はやし  
 代表者・役職名 氏名 代表 戸澤 司

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

お囃子を蘇らせ、地域のつながりを強く!

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

地元の鎮守様に「共益囃子」がありました。農業衰退につれ平成初期に維持困難で解散に至り、一方、2018年、国分寺市公民館運営審議会「地域づくりを目指す公民館の在り方」の諮問・答申を受け、並木公民館有志が、お囃子の復活と地域と異なる世代のつながりを目的に「Oh! はやし」設立準備を始めました。記録と記憶が途絶えないうちに可能な限りの伝承を受けようとの思いで、設立に至りました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

異なる世代と新旧住人がつながる地域は住みやすい街です。国分寺市北西部は驚くほどの速さで農地が宅地になり、昔からの住人と新しい住人が混在しています。かつて活躍した「共益囃子」は後継者不足で消滅したが、新しくお囃子を復活させることが出来れば、一緒に楽しみ地縁同好の足掛かりと地元のつながりをつくる事が出来ます。リタイアした団塊の世代も地元に戻ってきました。治安、災害に比較的安全な地域であっても、新旧の人たち、異なる世代の人たちのつながりが希薄になってはいけません。「Oh! はやし」が、そんなきっかけづくりを担いたいのです。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ①地域のつながりと応援を目的に、異なる世代で活動する参加者を募ります。手を挙げた私達が、技能の向上を目指し、基本演目「仁馬=にんば」を篠笛、締太鼓、長胴太鼓、鉦、拍子木で習熟します。参加を始めた小学生が中心になり踊りを習得しています。
- ②お囃子の楽しさを目から耳からリズムから伝えて、地域を応援します。さらに技能の向上と私達の自信と度胸を強化して、「Oh! はやし」をアピールします。公民館事業の「公民館まつり」、「子どもまつり」、「くぬぎ教室」、地域行事の「ふるさとの集い」にも参加します。
- ③公民館事業への応援の依頼を受け、「グループ活動公開講座」はじめ、大人から子供までの参加を募り、地域と異世代の交流のきっかけを作ります。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ①技能が向上しました。自前の道具類が揃い、練習方法を大きく変更しました。タブレット、スピーカー、USBを活用した映像による視覚効果は、参加者のモチベーションの向上とお囃子を復活する継続的な活動の基盤が固まりました。
- ②公民館事業への応援が増え、新しく「幼い子どものいる教室」、「人生 100 年講座」に参加し、地域行事「ふるさとの集い」、地元の農業体験農園「収穫感謝祭」にも応援依頼がありました。「OH! はやし」への関心の広がりを実感できて、地域交流、異世代交流に貢献でき始めています。
- ③応援、参加依頼が 3 件増えました。参加者は講師を含め 20 名になり、今後、篠笛、締太鼓、長胴太鼓、鉦、拍子木、踊りを複数で担当して、新規の参加者を応援します。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

受領した助成金で「Oh! はやし」の活動基盤が固まりつつあります。道具を保有できて外観がまとまり、地域や幅広い世代にアピールする体制が固まり、継続的な応援や参加を期待されています。地元で生まれた「共益囃子」は消滅しましたが、混在している昔からの住人と新しい住人、地元に戻った団塊世代と転入してきた子供やその若いお父さんお母さん、異なる世代をつなぐ役割が、「Oh! はやし」にあります。

音と踊りでアピールして一緒に楽しむ参加者を広げますが、私達が参加を期待している小学生中学生は、塾に部活にとっても忙しくしています。そんな課題も浮かび上がりましたが、小さく生んで大きく育てる役割を、私達「Oh! はやし」は担います。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

## 2022年度の主な活動



お面を作りました (2023年10月9日~23日)



「ふるさとの集い」に参加 (2022年12月4日)



助成金でタブレット、スピーカーを購入して、練習方法が充実しました



「並木公民館まつり」に参加（2022年5月15日）